



《はじめに》

今年度のアミュー展示会までに、職員全員の気持ちとチカラを一つにし、より良いモノを作るために、ひまわりの夢通信としてお知らせを逐次発行していきます。

今回のアミュープロジェクトのモットーは“あくまで楽しく”です。ご協力お願いします。

◆アミュー展示会準備会議 報告

日時 2019年5月9日
出席者 太陽学園：岡本園長・吉岡先生
きみどり：施設長・大和田NS・臼倉

前置き 昨年は世代間交流の一環として、子供たちによる入居者さんの似顔絵を発表しましたが、今年は一歩進めて共同制作をしていきたいと思えます。以下1年間の大まかな交流の展望を相談しました。

決定事項

- ① 今年度は昨年度のように別個に製作して、隣同士に展示する形態をとらない。
- ② 別個に製作するものと、共同制作にするもの、両方のものとして、展示方法・形態はコラボレーションとする。詳細は今後。
- ③ 別個に製作するゴッホのひまわりをそれぞれに作成する。
- ④ 共同制作作品は壁画。大きさは約2m×4m。作品は「星月夜」「糸杉」を立体的にデザインする。共同制作のため、時間は太陽学園の児童が月2回きみどりに於いて製作活動に取り組む。参加学年・日時は太陽学園側で決める。
- ⑤ 今回の目的として、製作展示品は結果であり、過程に重点を置く事とする。従って、太陽学園、きみどり共に記録（写真など）をしっかりとること。
- ⑥ 9日の交流会プログラムは以下の2点とし、記録および写真を必ずとること。
 - ・ “伝記ゴッホ”読み聞かせ（児童・入居者双方に）
 - ・ ひまわりの苗の入居者から児童への委託

※ 尚、共同制作が始まるまでは《私たちの得意なもの、取り組んでいるもの》を中心とした通常交流とする。今までは、けん玉、論語暗誦、国語教科書の朗読等をしてきました。

◆ケア会議 提案

プロジェクトチーム：深澤より

- ① ひまわりは、職員1人1個以上と入居者さんとの共同制作分、計2個を作る。
- ② 自分の分と共同制作分のデザインが同じでも違って構いません。入居者さんのADLや気持ちに寄り添ったもの（色・デザイン）にしていければと思います。
- ③ 結果的にそれぞれ個性にあふれたひまわりの集合体を目指します。約2mの大きさを目指しています。
- ④ 作成担当は追ってお知らせ致します。

- ⑤ 家族にも様々な形でのご協力を依頼する予定です。今回の特徴の一つです。
※施設長より家族向けのお便りが近々発送予定です。既にOさんの家族とは相談を開始しました。
- ⑦ 作成開始時期は6月からになり、期限は8月末を予定しています。
- ⑧ 作っている過程を大事にしていき、記録として写真を撮っていきます。
- ⑨ 写真は係っているケアスタッフも撮ってください。カメラはもう1台購入します。

★ひまわり製作の材料を集めています

ひまわり製作に使えるような布、紙、木材（丸太の輪きりとか）、粘土、糊、紐、絵の具、ペンキ、糸、何か丸いもの、毛糸、ロープ、他思いがけない材料、葉っぱなど、自分では使用しないが、他の人だったら使えるかもしれないと思える材料。既に仲里さんより黄色い布、栗山さんから糊が寄せられています。係りに声をかけてください。よろしく願います。休憩室に材料用段ボール箱を設置します。

★ひまわりのサイズ・デザインについて

自分のひまわりは色、デザイン、材料など出来るだけ個性豊かなものが良いと思います。サイズは小さいもので10×10、大きいもので30×30です。この範囲で製作していただいたら良いかと思います。20×20がベストです。最終日にグッドデザイン賞が大和田スタッフから出ます。また、他にもグッドアイデア賞、グッドサポート賞など豪華な賞品を準備しています。ご期待を！ひまわりは花の部分のみで、茎はつけなくても結構です。参考になる本やひまわりサンプルなど休憩室にありますので、ご覧下さい。

★ゴッホについてのDVD・CD貸出し中

アニメ映画・ゴッホ最後の手紙のDVDがあります。是非ご覧下さい。ゴッホの苦悩の一端が・・・また、絶望名言（NHKラジオ深夜便）で紹介されたゴッホについての録音CDもあります。夜勤に最適。絵本なども参考に！



★ニュースや投稿を期待しています

製作中のエピソード等ありましたら、口頭でも良いので是非お聞かせ下さい。

☆ 30秒ヒント 何故ゴッホでしょうか？

ゴッホは牧師の家庭に生まれました。その影響もあってか、苦しんでいる人、困っている人、悲しんでいる人に対してとても敏感でした。事実伝道師になったゴッホは炭鉱で働く人々の中で自らを省みず働きますが、一生懸命すぎて伝道師も辞めさせられてしまいます。しかし、**誰かの役に立ちたい**・・・そんな思いがゴッホの心の底流にいつも流れていました。生計を立てようと画家になっても、その思いは変わらず、事実、炭鉱の人々や厳しい農作業の人々を描いています。福祉の世界で働く私たちの出発点とゴッホの思いとはどこか接点、重なる処がないのでしょうか？**誰かの役に立ちたい**・・・**何かの役に立ちたい**・・・。今回の機会に、37年の短い人生だったゴッホに思いを馳せては如何でしょうか？